

会その他を開催して職員全員が知識を身につけていくということを中心にして取り組んでいきたい。

●新型インフルエンザ対策について

**Q** ワクチンの優先接種対象者のスケジュールでは、接種時期の目安が、受験生、中高生は1月中旬からになります。そういう点で、市内の中学校、高等学校における対策についてお伺いします。

**A** 保健福祉部長 国・県また市町村が、ワクチン接種に全力を挙げていますが、ワクチンの確保、供給等に対して接種の優先順位に沿って計画的に対応出来るよう鋭意努力しています。

**Q** 医療機関との連携の中で、集団的接種に対する対策は、どのように講じておられるのでしょうか。

**A** 保健福祉部長 供給されるワクチンは限度があり、調に供給されれば、集団接種も前倒しでできると判断されます。ただし、集団接種といふことも、任意接種であり、個

人の責任で対応していただくことになりますので、その辺を十分理解していただけた上で、今後の集団接種に対応していきたいと考えています。

●地域活性化対策について

**Q** (仮称) さんぶの森文化交流センターの運営と活用についてお尋ねいたします。

**A** 市民部長 何であるのか、その点をお聞かせいただきたいと思います。

今後、行政が取り組む課題は地域の活性化となり得るために、市民の交流センターとして地域の活性化となり得るために、何であるのか、その点をお聞かせいただきたいと思います。

交流センターが有効に活用されるためには、行政と市民が一体感を持っていかなければいけないと私は思います。そういう意味で、現在もオープン講座、その他を開催しながら、市民協働には、積極的に力を入れて、市民と行政の距離を縮めることに力を注いでいます。



個人質問

市川 陽子 議員

●市の駅前自転車駐車場の活用について

**A** 市民部長 有料駐車場が広がつていって、交流センターが地域活性化の一助になるように、有効に使つていただき、使われたいと考えております。

**A** 駅前に2カ所、計4施設です。

一帯を造つて、建物はできたけれども、その利用の仕方どいうものが、なかなか有効になさないということが見受けられました。私ども山武地区のこの交流センターの建設に当たりましても、そういう点は十分配慮していかなければいけないと思っています。

交流センターが有効に活用されることは、行政と市民が一体感を持つていかなければいけないと私は思います。そういう意味で、現在もオープン講座、その他を開催しながら、市民協働には、積極的に力を入れて、市民と行政の距離を縮めることに力を注いでいます。

**Q** 平成19年度から現在までの利用者数について。

**A** 市民部長 有料自転車駐車場での数値ですが、平成19年度末で収容台数は1016台、利用台数は907台、利用率は89.3%です。平成20年度末は991台、利用台数949台、利用率95.8%、また、平成21年度10月末現在で920台、92.8%が現状です。

**Q** 下の段差があり駐輪ラックが固定されています。互いの自転車がごやハンドルが左右約10センチ重なり、使用にくいという問題点について。

**A** 市民部長 無料駐車場は整備が遅れている現状で、盗難等が多いとの要望の中、防犯カメラを設置した。

**Q** 料金の改定予定について。

**A** 市民部長 自転車等駐車場条例の一部改正を行つたが使用料金はそのままです。

**Q** バスについて。

**A** 市民部長 指定管理者に管理を委託することにより、車体や部品の盗難、ほかの場所への駐輪、パンク、自転車の前かごにごみを入れられる等のいたぶりが抑制され、さめ細かなサービスの向上が期待できると思います。



松尾駅前自転車駐車場

**Q** 会で指定管理者制度の議案が承認された進捗状況について。

**A** 市民部長 10月1日から公募を行い、一団体が候補として選定され、予算面等

●道路等の安全対策について

**Q** 市の道路にかかる街灯、カーブミラー、看板、道路の舗装や改修、U字溝、草刈り、環境の問題、その他